

# JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第 8 陣の記録 エネルギー技術交流 対象国:マレーシア

#### 1.プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、マレーシアより社会人 22 名が、2018 年 10 月 23 日~10 月 30 日の日程で来日しました。

一行は、「エネルギー技術交流」のテーマの下、東京都、愛知県において、関連施設の視察、関係者との意見交換を行い、日本の技術、日本の企業の姿勢等について、知見を深めました。また、神社仏閣、ホームステイ等を通じて日本文化を体験しました。そして、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン(活動計画)について発表しました。

【参加国・人数】マレーシア 22 名

【訪問地】東京都、愛知県

#### 2. 日程

- 10月23日(火) 来日、【オリエンテーション】
- 10月24日(水) 【文化視察】江戸東京博物館、浅草寺 【テーマ関連の視察】森ヶ崎水再生センター
- 10月25日(木) 東京都から愛知県へ移動 【文化視察】豊川稲荷 【テーマ関連の視察】バイオマス利活用センター
- 10月26日(金) 【文化体験】西尾市歴史公園(西尾城・旧近衛邸) 【テーマ関連の視察】中部電力 碧南火力発電所

【ホームステイ】愛知県豊橋市

- 10月27日(土) 【ホームステイ】
- 10月28日(日) 【地域住民・関係者との歓送会】 【ワークショップ(報告会準備)】
- 10月29日(月) 愛知県から東京都へ移動、【成果報告会】
- 10月30日(火) 帰国

### 3.プログラム記録写真



10月23日【オリエンテーション】



10月24日【テーマ関連の視察】 森ヶ崎水再生センター



10月25日【テーマ関連の視察】 バイオマス利活用センター



10月26日【文化体験】 西尾市歴史公園(西尾城・旧近衛邸)



10月26日【テーマ関連の視察】 中部電力 碧南火力発電所



10月28日【地域住民・関係者との歓送会】



10月28日【ワークショップ(報告会準備)】 10月29日【成果報告会】



#### 4.参加者の感想(抜粋)

#### マレーシア国営企業職員

森ケ崎水再生センターでは、使用電力の一部を自給する上で、太陽光やバイオガス、小水力発電といった持続可能な再生エネルギーを利用しているという点が印象に残りました。化石燃料への依存度を低減させるだけでなく、一般廃棄物処理の良き事例ともなっていることを知りました。このパターンは豊橋市バイオマス利活用センターでも見られました。歴史と伝統という点では、江戸東京博物館、浅草及び豊川稲荷の訪問で、日本の歴史を感じ取り、伝統が今日の日本を形作るのに大きな役割を果たしていることを知ることができました。ホームステイでは、日本人のホストファミリーから直接、温かいおもてなしを受け、日本の方たちの良いところ、異なる文化や習慣に触れられたという点で大変印象に残りました。

#### マレーシア国営企業職員

森ケ崎水再生センターと豊橋市バイオマス利活用センターでは、廃棄物を電力に変え、 残りかすを出さない進んだ技術を見ました。浅草寺や豊川稲荷といった寺社訪問では、 大変古い建物であるにも関わらず建築物がきれいに保たれている様子を見ました。ホストファミリー宅では、ご家族が親切で親しみやすい人たちで英語も堪能であり、とても お話しがしやすかったです。ご家族は、私が気持ちよく過ごせるように接して下さいま した。西尾市歴史公園ではお城がきれいでしたし、お茶会は驚くべき経験でした。

### 5.受入れ側の感想(抜粋)

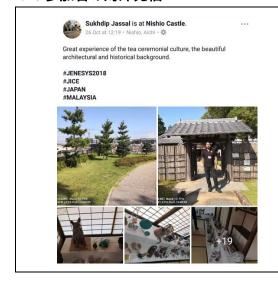
#### ホストファミリー

私は、マレー語に興味があるので、いろいろなマレー語を教わったり、日本語を教えたり、キロロの「未来へ」やマレーの「ラササヤン」(歌)を一緒に歌ったり、とても楽しかったです。

#### ホストファミリー

楽しくて夜になってもおしゃべりが止まりませんでした。家族で釣りに行ったり、畑仕事を手伝ってもらったりして、楽しい時間を過ごせました。今後もこの繋がりを続けたいです。

#### 6.参加者の対外発信





茶の湯の文化、美しい建物や歴史的背景 を知ることができた素晴らしい経験でした。 2018年10月25日 横浜から愛知県豊橋市に移動しました。新幹線に乗車する素晴らしい体験ができました。豊川稲荷と豊橋市バイオマス利活用センターを訪問し、同センターは自治体と民間企業と市民が一体となってより良い環境を目指した良いお手本となることを知りました。

#### 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

## 発表 1

テーマ:環境意識啓発





環境意識啓発のために、日本の文化、生活様式、技術といった知見の共有を図るとと もに、マレーシア人の訪日を促します。

#### (具体的には)

- ・家庭で経験を共有し、職場で環境保護行事やセミナーを開催します。
- ・サイクリングやウオーキングを普及し、簡素化し覚えやすい安全確認の導入、仕事 の優先順位付けに取り組みます。
- ・環境面では、廃棄物処理における 3R の重要性、資源ごみと生ごみの分別、飲食に 自分の容器を持参する取組みを推奨します。
- ・法律面では地方自治体に働きかけ、市会議員や国会議員に廃棄物処理について文書 で要請します。
- ・日本の興味深い場所やイベント等を SNS 等で共有し、訪日を促します。

#### 発表 2

テーマ:廃棄物処理政策の向上に向けた提言





リサイクル及びバイオマスの再生可能エネルギー源としての利用促進、最終処分量の 削減に向け、廃棄物処理の向上(排出源分別)政策を関係政府機関に提言します。

#### (具体的には)

- ・水・国土・天然資源省、都市福祉・地方自治省(注:一般廃棄物を所管)、国営下 水道公社、エネルギー・科学技術・環境・気候変動省、クアラルンプール市役所を 対象に、マレーシアの廃棄物処理の実施状況と日本の廃棄物処理規制を調べます。
- ・日本で得た知見を同僚に共有し、提言案をまとめ、関係者と連携していきます。
- ・2019 年 1 月にはエネルギー・科学技術・環境・気候変動省及び関係省庁に提言をまとめ、提出します。